

グループ長期環境目標「TAISEI Green Target 2050」のCO₂削減目標がSBTi からNet-Zero Targetの認定を取得

2025年8月4日
大成建設株式会社

大成建設株式会社（社長：相川善郎）が掲げる、グループ長期環境目標「TAISEI Green Target 2050」の2030年及び2050年CO₂削減目標が、国際的なイニシアティブであるSBTi^{※1}から、“NEAR-TERM SCIENCE-BASED TARGETS^{※2}”及び“Net-Zero Target^{※3}”の認定を取得しました。なお、今回の認定は、2019年に認定を受けた目標の更新にあわせ、あらためて申請を行ったものです。

■ グループ長期環境目標「TAISEI Green Target 2050」のCO₂削減目標

基準年：2022年度	2030年	2050年
スコープ1+2	▲42%	CO ₂ 排出量0
スコープ3（カテゴリー1+11）	▲25%	サプライチェーン CO ₂ 排出量0

今後も当社グループは、グループ理念「人がいきいきとする環境を創造する」のもと、「持続可能な環境配慮型社会の実現」を目指し、事業を通じてカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

THE NET
ZERO
STANDARD

APPROVED NET-ZERO TARGETS

※1 SBTi (Science Based Targets initiative) :

企業の気候変動に関するGHG削減目標がパリ協定の求める水準と整合しているかを検証、認定するイニシアティブ。CDP、国連グローバル・コンパクト(UNGC)、WE MEAN BUSINESS COALITION、世界資源研究所(WRI)、国際自然保護団体(WWF)の5団体が運営。

※2 NEAR-TERM SCIENCE-BASED TARGETS :

企業が科学的根拠に基づいて、パリ協定の目標である“世界の平均気温上昇を産業革命前と比べて1.5°Cに抑える”ことに貢献するために設定した、5~10年後の温室効果ガス排出量削減目標。

※3 Net-Zero Target :

企業が科学的根拠に基づいて設定した、2050年までに Scope1,2,3 の全ての温室効果ガス排出量を実質ゼロにする（ネットゼロ）目標。